

ツキノワグマ出没特別注意報

県では、ツキノワグマの出没が多発するおそれがあることから令和5年3月20日に「ツキノワグマ出没注意報」を発令したところでありますが、5月2日に須賀川市で人身被害が発生したため、「ツキノワグマ出没注意報」を「ツキノワグマ出没特別注意報」へと引き上げました。県民の皆様には、野外で活動する際にはツキノワグマに出会わないようより一層注意をお願いします

- ◆ 期間 令和5年5月2日～令和5年7月31日まで
(当初発令期間 令和5年3月20日～令和5年7月31日まで)
- ◆ 区域 県内全域

例年、冬明けの4月から7月にかけてツキノワグマの目撃が多くなります。また、**行楽や山菜採り等で入山した際にツキノワグマによる人身事故**も毎年発生しています。こうしたツキノワグマとの遭遇を避け、被害を未然に防ぐために次のような心構えが重要です。

1 遭遇しないための心構え

クマは臆病な性格のため、積極的に人間を襲うことはほとんどありませんが、不意の遭遇でパニックになり襲いかかってくることがあります。こうしたツキノワグマとの遭遇を避けるために、以下の点についてご注意ください。

① クマがいるのかどうか調べる。(痕跡を調べる)

◇ クマの糞



人間と同じかちょっと大きめで形も人間と同じ。食べ物によって変化。

◇ 足跡：幅は成獣で7～13cm。



② クマの行動を知り、遇わないようにする。

- ◇ 出かける前にツキノワグマの目撃情報等があるかあらかじめ確認しましょう。
- ◇ 登山などで山に入る際には、**複数人で行動する**、クマ鈴やラジオなどの**音の鳴るものを身につける**など、ツキノワグマに人間の存在が分かるようにしましょう。やむを得ず単独で行動する際には音のするもの身につけて、常に周辺を注意しましょう。
- ◇ ツキノワグマは**早朝と夕方に活発に活動**します。**朝夕の入山は避ける**ようにしましょう。
- ◇ 子グマの近くには、親グマがいる可能性が高いです。子グマを守ろうと親グマが攻撃してくることがあり危険なため、子グマを見つけた場合はその場から静かに立ち去ってください。

2 里を餌場と認識させないための心構え

近年、エサを求めてツキノワグマが住宅地の周辺でも目撃情報が多くなっています。ツキノワグマを引き寄せないために、次の点に注意しましょう。

- ① 人家の周りにクマの餌となりうる生ゴミ等を放置しない。
- ② 人家の周りに収穫しない柿の木などを放置しない。
- ③ ペットフードや家畜の餌を食べていたクマの報告もあるため、ペットフードなどはフードストッカーや納屋などに保管する。

3 出遭ったときに興奮しない、興奮させないために

- ① 遠くにいるのを発見した場合は、あわてずそっと立ち去る。
- ② クマから目を離さないようにして、できるだけゆっくりと後ずさりしながらクマから離れる。クマとの間に立木等の障害物を入れることができる位置に移動することで突進を防ぐこともできる。
- ③ **背中を見せて逃げるとクマは本能的に襲ってくる**ので、走って逃げない。

問い合わせ先

福島県自然保護課 電話：024(521)7210

各地方振興局で
クマ鈴を貸出します。